

事 項	水稻の移植時育苗箱施用による紋枯病防除法		
ね ら い	<p>紋枯病の防除法は、これまで水面施用や茎葉散布などの本田防除であったが、移植時に育苗箱に施用することにより、省力的で長期にわたって効果が持続するカルプロパミド・チフルザミド・イミダクロプリド・ダイムロン粒剤（ウィンアドマイヤーグレートム箱粒剤）が登録され、効果が認められたので防除の参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 カルプロパミド・チフルザミド・イミダクロプリド・ダイムロン粒剤（ウィンアドマイヤーグレートム箱粒剤）を移植2日前から移植当日に箱施用することにより、紋枯病とともに、葉いもち・イネドロオイムシ・イネミズゾウムシ・セジロウンカ・ヒメトビウンカも同時防除できる。</p> <p>2 使用方法 (1) 処理方法：育苗箱の苗の上から均一に散布し、茎葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水する。 (2) 使用量：50g/育苗箱 (3) 使用時期：移植2日前～移植当日 (4) 対象病虫害：いもち病（葉いもち）・紋枯病・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・セジロウンカ・ヒメトビウンカ</p> <p>3 薬剤名等 (1) 一般名：カルプロパミド・チフルザミド・イミダクロプリド・ダイムロン粒剤 (2) 商品名：ウィンアドマイヤーグレートム箱粒剤 (3) 有効成分：カルプロパミド 4.0% チフルザミド 3.0% イミダクロプリド 2.0% ダイムロン 1.0% (4) 人畜毒性：普通物 (5) 魚毒性：B類相当</p> <p>4 安全（適正）使用基準 (1) 対象病虫害：いもち病・紋枯病・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ウンカ類 (2) 使用量：50g/育苗箱（育苗箱：30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） (3) 使用時期：移植2日前～移植当日 (4) 使用回数：1回 カルプロパミド：3回（本田期は2回） チフルザミド：1回 イミダクロプリド：3回（本田期は2回） ダイムロン：3回（本田期は2回）</p>		
期待される効果	育苗箱施用により、省力的でかつ長期間にわたって効果が持続する。		
利用上の注意事項	<p>1 使用上の留意事項を遵守する。 2 散布ムラのないように均一に散布する。 3 軟弱徒長苗、ムレ苗、移植適期を過ぎた苗などでは薬害を生じる恐れがあるので健苗に使用する。</p>		
担 当	青森県農業試験場 病虫肥料部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	平成11年度 青森県農業試験場試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤の紋枯病に対する防除効果 (平成11年 青森農試)

供試薬剤名	発病株率(%)			病斑高率(%)		被害度		防除価	薬害
	8/4	8/20	9/7	8/20	9/7	8/20	9/7		
ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤	18.3ab	50.3	52.0 b	28.8 b	36.8 b	6.8 b	14.1 b	61	—
対) リンバー粒剤	13.0 b	50.3	44.7 b	24.9 b	37.3 b	3.6 b	12.5 b	66	—
無処理	35.7a	81.0	88.7a	36.9a	45.6a	22.0a	36.7a	—	—
F 検定	*	ns	**	**	**	***	***		

- 注1) 表中の同一英小文字間にはTukey多重検定による有意差(5%)がないことを示す、防除価は被害度より算出 被害度は羽柴式により算出。被害度=(1.62×病斑高率-32.4)×発病株率/100
 2) 試験場所:農試圃場 品種:むつほまれ 出穂期:8月1日 発病状況:多発生(自然発病)
 3) 処理:ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤(移植2日前(5/19)、50g/箱)、リンバー粒剤(出穂27日前(7/5)、3kg/10a)

表2 ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤の紋枯病に対する防除効果 (平成12年 秋田農試)

供試薬剤名	発病株率(%)				病斑高率(%)		被害度	防除価	薬害
	7/27	8/8	8/23	9/13	8/23	9/13	9/7		
ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤	2.5	7.5	6.5	4.0b	23.0 b	32.6 b	0.9 b	97	—
対) リンバー粒剤	8.0	9.0	9.0	4.5b	19.5 b	36.5 b	1.1 b	97	—
無処理	16.5	28.5	37.0	46.0a	45.3a	62.2a	31.3a	—	—
F 検定	ns	ns	ns	*	**	**	*		

- 注1) 表中の同一英小文字間にはTukey多重検定による有意差(5%)がないことを示す防除価は被害度より算出 被害度は羽柴式により算出 被害度=(1.62×病斑高率-32.4)×発病株率/100
 2) 試験場所:秋田県河辺郡雄和町現地農家圃場 品種:あきたこまち 出穂期:8月2日 発病状況:中発生(自然発病)
 3) 処理:ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤(移植当日(5/19)、50g/箱)、リンバー粒剤(出穂16日前(7/17)、3kg/10a)

表3 ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤の紋枯病に対する防除効果 (平成12年 岩手農七)

供試薬剤名	8/8	9/1		防除価 (被害度より算出)	薬害	
	発病株率	発病株率	病斑高率			被害度
ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤(移植2日前)	8.3	18.3	41.8ab	7.1	72	—
ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤(移植当日)	3.7	12.3	36.4ab	3.9	84	—
対) リンバー粒剤	0.7	9.7	20.6 b	2.1	92	—
無処理	37.3	49.0	46.5a	25.0	—	—
F 検定	ns	ns	*	ns		

- 注1) 表中の同一英小文字間にはTukey多重検定による有意差(5%)がないことを示す 被害度は羽柴式により算出 被害度=(1.62×病斑高率-32.4)×発病株率/100
 2) 試験場所:岩手県九戸郡軽米町山内現地農家圃場 品種:かけはし 出穂期:7月30日 発病状況:中発生(自然発病)
 3) 処理:ウィンアドマイヤーグレートタム箱粒剤(移植2日前(6/3)、移植当日(6/5)、50g/箱)、リンバー粒剤(出穂17日前(7/13)、4kg/10a)

(参考) 価格:1袋1kg 4,500円前後(中苗7,875円前後/10a)